

私もひとこと



糟川みわ子さん
(栗 駒)

知っていますか「栗家連」

栗原市誕生後の平成19年3月に、「栗原市精神障がい者家族連合会」が発足しました。

在宅障がい者とその家族などが、日常生活における悩みなどを共有し、よりよい生活を探し地域で安心して生活できるように活動しています。主な活動として、夏、冬の交流会や一人ですみず声を出して語り合う場としての家族懇談会、研修会などを行っています。同じような境遇の中で悩んでいる方、活動に理解をいただく方などの会員を募集しています。

また、不要なバッテリーの売却代金の中から助成をいただいている県自動車整備振興会栗原支部さんには、財政的に大きな支えになっており感謝しています。

このように行政や地域の皆さんに支えられ活動していますが、当事者と家族が明るく過ごせるような栗原市の生活（福祉）環境であってほしいと思います。

条件不利地域への農業支援を

私の住む高清水影の沢地区は、戦後、開拓農民として入植し、今は二代目、三代目が兼業農家として稲作に取り組んでいます。しかし、水の確保が困難なことや担い手がいけないなどの理由で、耕作放棄地が増えているのが現状です。

このような中で、平成22年に市の担当者から「中山間地域等直接支払制度」の内容を聞き、早速12名のメンバーで取り組むことになりました。昨年からは国の交付金を利用し、共同育苗ハウスを建て、今年はさらに1棟建てる準備をしています。

また、水の確保は、ボーリングに頼らざるをえません。そのため、電気料が大きな負担になります。これには、市の「農業用揚水機場維持管理補助金」が大変役立っています。

このように、条件不利地域における農業への支援を、今後ともぜひお願いしたいと思っています。



沼倉のぼるさん
(高清水)

あじがき

各学校での卒業式や入学式、企業や会社での入社式と、別れる淋しさと希望を持つての出会いが交錯する春。私たち議員も4年間の任期がすぐそこまで来ています。

この間、震災の復旧復興に全力で取り組んだことや、議会活性化のため議会基本条例を制定し、市民と直接対話できる議会報告会を開催し、様々なご意見をいただき市政に反映すべく道筋をつけることができたことは、評価できることと思います。

皆さんと議会との橋渡し役として、議会だよりを編集してきましたが、次号からは新体制での編集となります。4年間のご愛読に心から感謝を申し上げます。

石川 正運

議会広報編集調査特別委員会

- 委員長 佐藤 久義
- 副委員長 高橋 勝男
- 委員 菅原 勇喜
- 委員 鈴木 道夫
- 委員 沼倉 猛
- 委員 佐藤 優
- 委員 三塚 東
- 委員 石川 正運
- 委員 三浦 善浩
- 委員長 佐藤 千昭